

みなとくりつ しょうがっこう
港区立の小学校に

はい かんが かと
入ることを考えている方へ

れいわ ねん がつ
令和5年10月

みなと ぐ
港 区

もくじ 目次

はじめに	1
1 日本 <small>にほん</small> の教育制度 <small>きょういくせいど</small>	2
2 入学前 <small>にゅうがくまえ</small> スケジュール（予定 <small>よてい</small> ）	3
3 学校選択希望制 <small>がっこうせんたくきぼうせい</small> と入学前 <small>にゅうがくまえ</small> 手続き <small>てつづ</small>	4
4 小学校 <small>しょうがっこう</small> の1日 <small>いち</small>	5
5 小学校 <small>しょうがっこう</small> の1年 <small>ねん</small>	6
6 ことばの支援 <small>しえん</small> と学級 <small>がっきゅう</small> の選 <small>えら</small> びかた	8
7 日本語 <small>にほんご</small> の学 <small>がく</small> 習 <small>しゅう</small> 支援 <small>しえん</small>	9
8 保護者 <small>ほごしや</small> がすること	11
9 学校 <small>がっこう</small> で使う（買 <small>つか</small> う、もらう、借 <small>か</small> りる）もの	12
10 学校 <small>がっこう</small> にはらう費用 <small>ひよう</small>	14
11 就学援助 <small>しゅうがくえんじょ</small>	14
12 子どもの健康 <small>けんこう</small> ／保健室 <small>ほけんしつ</small>	15
13 学校 <small>がっこう</small> からの連絡 <small>れんらく</small>	16
14 学校緊急連絡システム <small>がっこうきんきゅうれんらく</small>	16
15 学校 <small>がっこう</small> でよく使う言葉 <small>ことば</small>	17
16 問合せ（相談窓口 <small>そうだんまどぐち</small> ）	21

はじめに

「港区立の小学校に入ることを考えている方へ」（このガイドブック）は、外国につながる子ども、保護者（母親・父親など）のために作りました。「やさしい日本語」と英語、中国語、ハングル（韓国語・朝鮮語）で作っています。

小学校に入学する（入る）までに準備（用意）すること、そして学校でどんなことをするのかなどを書いています。

このガイドブックが、外国からきた子ども、保護者、そして彼らを支援する（助ける）人たちに、港区の小学校の生活を理解するのに役に立ち、子どもたちが楽しい生活を送ることができるようになることを願っています。



※ 学校でよく使う日本語が 15 学校でよく使う言葉 にあります。覚えると役に立ちます。

1 日本の教育制度

日本では、ふつう学校の一年は4月に始まり、3月に終わります。子どもは6歳になった4月に小学校へ入学し、6年間を過ごします。12歳になった4月には、中学校へ入学し、3年間を過ごします。小学校と中学校で過ごす9年間を『義務教育』と言います。

多くの子どもはそのあと高等学校（高校）に3年間行き、高等学校を卒業したあとは、大学や短期大学、専門学校などに進んだり、就職（仕事を）する人もいます。教育機関（教育をする団体）には国や地方公共団体（東京都や港区や横浜市のような県・都・市・区など）が運営する（持っている）ものと民間（会社）が運営する私立のものがあり、選ぶことができます。

このガイドブックでは、港区立（港区が持っている）小学校について説明します。

○義務教育



2 入学前スケジュール（予定）

くわしいスケジュール（予定）や内容は、このガイドブックでは書きません。区役所で入学を申し込んだときに説明します。

9月終わり	<p>●入学案内がとどきます</p> <p>翌年（次の年）の4月に新しく小学校1年生になる年齢（年）の子どもがいる保護者（父親や母親など）全員に、港区から案内が郵便でとどきます。</p>
10月1日～	<p>●小学校入学の申込みをします</p> <p>締切日（決まった日）までに、区役所7階の学務課*に行き行って申し込みます。先着順（早く行った順番）ではありません。</p>
10月中	<p>●学校選択希望票をとどきます</p> <p>学務課で入学申込みをした人に、港区から学校選択希望票が郵便でとどきます。（学務課では渡しません。）住民登録をしている住所にとどきます。（くわしい説明：3 学校選択希望制と入学前手続き）</p>
11月初め	<p>●学校選択希望票を港区に出します</p> <p>保護者が学校選択希望票を書いて、決まった日までに郵便で出すか、学務課に持っていきます。決まった日を過ぎると学校を選ぶことができません。</p>
11月終わり	<p>●学校を希望した人数を発表します</p> <p>学校に申し込んだ人数を港区のホームページで発表します。発表の内容がわからないときは学務課*に電話してください。</p>
12月初め	<p>●抽選（くじ）をやります</p> <p>行きたい人が多くて全員が入学できない学校は入学の順番を決める抽選（くじ）があります。入る順番を決めるので、入学できるかどうかではありません。抽選のある学校を選んだ人には、港区から結果が手紙できます。</p>
1月真ん中くらい	<p>●就学通知書・入学説明会日程案内がとどきます</p> <p>どこの学校に行くか決まると、就学通知書と入学する予定の学校の入学説明会の案内が港区からきます。学校選択希望票を出している人は、学校が変わることがあります。また、案内に書いてある学校とはちがう学校に変えるときは、区役所の学務課で手続きをしてください。</p>
2～3月	<p>●それぞれの学校の入学説明会</p> <p>それぞれの学校で、入学する子どもと保護者のために説明会があります。説明会では、学校が始まる前の準備（用意）や始まってからのことなど、くわしい話があります。必ず出席してください。</p>

- 関係する窓口や部署（課や係）は16 問合せ（相談窓口）を見てください。

3 3 学校選択希望制と入学前手続き

港区では、住んでいる地域の通学区域（学校の近くの場所）の学校（「指定校」といいます）に行くことをお願いしています。しかし、希望するときは、入学する学校を選択（選ぶことが）できる「学校選択希望制」を実施して（やって）います。

選択希望（選ぶこと）ができる学校

通学区域の学校（指定校）か、隣接校（近くの学校）（学校の名前は港区のホームページを見るか、学務課*に聞いてください。）

港区外から転入した（引っ越しした）ときに、希望する学校や学年が定員（入ることができるいっぱいの人）になっているときは、選択希望を出すことはできません。住民登録をして、学務課で区立小学校の入学申込みをしたときの学校や学年の人数でまります。

学校を選ぶときの注意

通学（学校に行く／から帰ること）は歩くか、電車やバスを使ってください。自転車を使ったり自動車で行く／帰ることはできません。毎日学校へ行くので、子どものことを考えて、学校を選んでください。また、通学路の車の多さや混雑、安全についても大丈夫か調べてください。

入学前手続き（引っ越してきたときの手続き）

- ① 区役所や各地区総合支所の住民登録窓口*で転入（港区に入ってきたとき）の手続きをしてください。
 - ② 学務課窓口で外国人就学申請書を書いて出してください。
 - ③ 子どもと保護者が学校へ行き、これから始まる学校生活について校長先生と面談する（話す）ために、学校に連絡し、日にちと時間を決めます。
- ※ 港区に住民登録をしている人は②からやります。

- 関係する窓口や部署（課や係）は 16 問合せ（相談窓口） を見てください。
- 各地区総合支所の住民登録窓口は、港区のホームページを見てください。
- 港区ホームページ <https://www.city.minato.tokyo.jp/>



4 しょうがっこう いちにち 小学校の1日

がっこうによって、じかんが違います。がっこうからのお知らせを確認してください。

じかん	やること
8:10～	<p>登校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に行きます。 ・ 毎日決まった道（通学路）で行きます。 ・ 遅刻する（おそく行く）ときや欠席する（休む）ときは、必ず保護者が学校に電話します。 ・ 遅刻するときは、保護者がいっしょに学校に行きます。
8:30	<p>朝の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室で朝のあいさつをして、先生の話 を聞きます。 ・ 校庭や体育館に集まる朝礼をする日もあります。
8:40～	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午前は 45分の授業が4回あります。 ・ トイレは休み時間に行きます。
12:15～	<p>給食（学校が用意します）</p>
12:45～	<p>昼休み</p>
13:10～	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午後は 45分の授業が1～2回あります。 ・ 午後の授業がない日もあります。
15:00	<p>帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の日のことを聞きます。 <p>下校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家に帰ります。教室などのそうじをしてから帰るときもあります。

※このページに出てくる言葉は学校でよく使います。日本語を覚えると役に立ちます。15 学校でよく使う言葉 を見てください。

5 しょうがっこう ねん 小学校の1年

ぎょうじ (みんなでする特別なことなど) をする日は学校ごとに違います。くわしいスケジュール (予定) や行事の内容は学校でもらうスケジュールを見るか、先生に聞いてください。

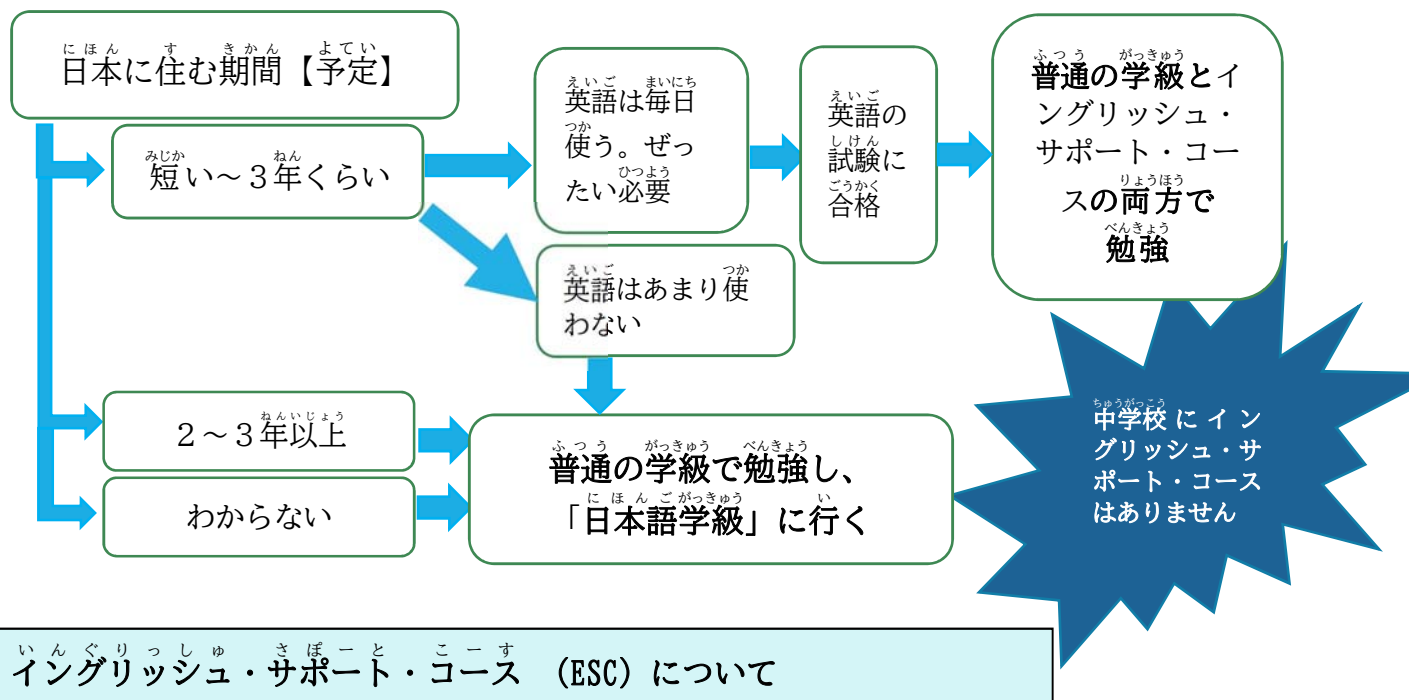
1 学期		
4月	始業式*1	各学期の最初の日は「始業式」があります。すべての児童(生徒)と教員(先生)が集まります。
	入学式	子どもが学校に入学するときに祝う式です。保護者は見に行きます
	健康診断	医師(医者)が学校に来て子どもの健康に問題がないかを調べます
	保護者会*2	子どもの保護者が学校に集まり、先生の話聞く会です。ほかの保護者もいっしょです
	遠足/校外学習	教員(先生)と児童がバスなどに乗っていっしょに学校の外に行き、学習したり遊んだりします
5月	運動会	いろいろな種類のスポーツ(運動)を楽しみながら、勝ったり負けたり、競争する大会です。保護者が見に来ることができます
	学校公開*3	保護者が子どもの学校生活を見に行きます
6月	水泳指導始まり	体育の授業で水泳を練習します
7月	保護者会	*2と同じ
	終業式*4/ 夏休み	各学期の最後の日「終業式」があります。すべての児童(生徒)と教員(先生)が集まります。次の日から8月終わりまで夏休みです。夏休みには宿題があります
8月	夏季学園(5年生)	美しい自然の中で宿泊し(泊り)ながら、みんなで協力して楽しい集団生活(たくさんの人で生活すること)をします。

がっき 2学期		
9月	しぎょうしき 始業式	*1 と同じ内容
	ひわたしくんれん 引き渡し訓練	じしん やつなみ など、さいがい がおこったときは、ほごしゃ が来るまで子どもは学校で待っています。学校が子どもを保護者に引き渡す訓練(れんしゅう)をします。
	すいえいしどうお 水泳指導終わり	水泳の練習が終わります
	がっこうこうかい 学校公開	*3 と同じ
10月	いどうきょうしつ (6年生) 移動教室	みんなでいっしょに泊まり行動しながら、自分で何かをすること、みんなで決めたことを守り、仲良くする気持ちや行動を学びます。
11月	がくげいはっぴようかい 学芸発表会	いろいろな学習についてまとめて発表します。保護者が見に行くことができます
12月	めんだん 面談	子どもの勉強や生活の様子について担任の先生と話します
	ほごしゃかい 保護者会	*1 と同じ
	しゅうぎようしき ふゆやす 終業式/冬休み	*4 と同じ。2学期の終業式の次の日から1月初めまで冬休みです
がっき 3学期		
1月	しぎょうしき 始業式	*1 と同じ内容
	がっこうこうかい 学校公開	*3 と同じ
3月	そつぎようしき 卒業式	子どもが学校を卒業するときに祝う式です。卒業生の保護者は見に行きます
	しゅうりようしき はるやす 修了式/春休み	学校の1年が終わる3学期の最後の日に「修了式」があります。すべての児童と教員が集まります。次の日から4月初めまで春休みです。

*保護者が学校に行く「入学式」「卒業式」では、多くの保護者はスーツなど、きちんとした服で行きます。服装にきまりはありませんが、心配なときは子どもの日本人の友だちの保護者に相談してみるのがよいです。

6 ことばの支援と学級の選びかた

小学校に入ってきた外国につながる子どもが日本語の勉強や日本語で授業に受けることがむずかしいときに、港区ではいくつかの支援を用意しています。下の図を見て、学級を選ぶことや支援をたのむことを考えてください。わからないときは学務課*で相談してください。



- 南山小学校と東町小学校だけにあります。
 - 日本に長く住む予定がなく、毎日使っている英語の力を落としたいくない子どものための学級です。英語の勉強する学級ではありません。英語の試験に合格した子どもが入れます。
 - 国語と算数の時間だけ「イングリッシュ・サポート・コース」で英語を使って勉強し、そのほかの授業（科目）はほかの子どもたちと一しょに日本語で勉強します。担任の先生も日本語で話します。
 - 「イングリッシュ・サポート・コース」にいる子どもは、「日本語学級」には行けません。日本語の支援もありません。
 - 「イングリッシュ・サポート・コース」に行きたいときは、学務課*に来てください。
 - 「イングリッシュ・サポート・コース」の勉強の内容は、教育センター*に聞いてください。
- ※ 日本の中学校に行くことを考えている人は、普通の学級で勉強し、週に1～2回「日本語学級」に行くか、「日本語適応指導」で日本語の理解を深めます。「日本語学級」と「日本語適応指導」については、次の7日本語の学習支援で詳しく説明します。

- 関係する窓口や部署（課や係）は16問合せ（相談窓口）を見てください。

7 にほんご がくしゅうしえん 日本語の学習支援

日本語の学習支援が必要な子どもには、2つの支援、「日本語学級」と「日本語適応指導」があります。（「イングリッシュ・サポート・コース」に通っている子どもには日本語の学習支援はありません。）



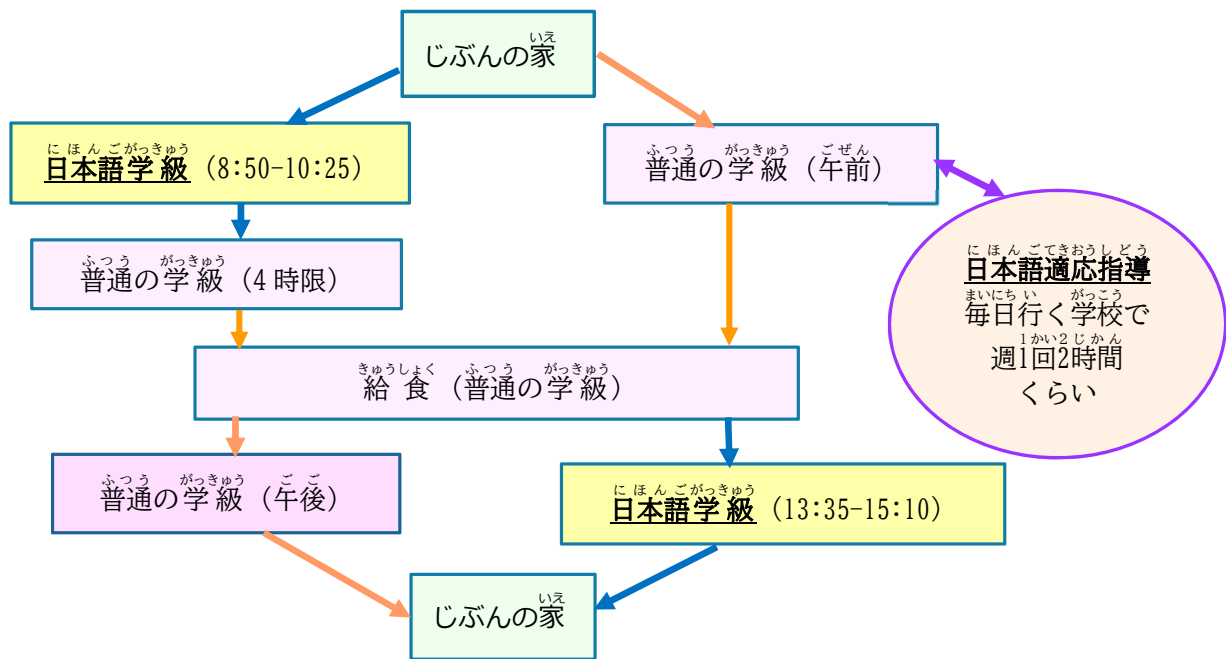
【どちらにするか決める時の注意】

1. 保護者はさいしょに「日本語学級」へ行くことを考えてください。
2. 保護者が子どもを、毎日行く学校から「日本語学級」へ連れていったり、「日本語学級」に迎えに行くことができないときは、「日本語適応指導」を受けることができます。
3. 「日本語学級」と「日本語適応指導」の両方は受けられません。

わからないときや、決めるのがむずかしいときは学務課*で相談してください。

日本語学級について

- ・ 子どもは普通の学級で勉強しながら、「日本語学級」の時間だけ、普通の学級から移動して、学習や生活のための日本語を特別に勉強します。
- ・ 小学生のための「日本語学級」は、麻布小学校と筈小学校にあります。ほかの小学校の普通の学級で勉強しながら、麻布小学校か筈小学校の「日本語学級」に行くこともできます。そのときは、保護者が学校から学校への移動に付き添い（いっしょに行き）ます。
- ・ 麻布小学校・筈小学校の普通の学級に入るためには、その学校がある通学区域（学校の近くの場所）に住まなくてははいけません。学級に入る人数があいているときは、学校選択希望制を使って選ぶことができます。（くわしい説明：3 学校選択希望制と入学前手続き）
- ・ 「日本語学級」へ行きたいときは、子どもが行っている学校に相談してください。
- ・ 「日本語学級」の勉強の内容については、教育センター*に聞いてください。



日本語適応指導について

- 子どもが毎日行く学校と日本語学級を往復する(行く・帰る)ときのつきそい(いっしょに行くこと)を保護者ができないなどの理由で「日本語学級」に行けない児童は、週に1回、2時間くらい(1年で48時間まで)、毎日行く学校で普通の学級とはべつのところ「日本語適応指導」(日本語の勉強)を受けることができます。
- いままで日本語をたくさん教えてきた専門の人(日本語適応指導員)が、その児童の母国語(生まれた国の言葉)で教えます。
- 日本語適応指導員が使う言語は、中国語、タガログ語、英語、韓国語、ネパール語、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ロシア語、ベンガル語です。
- 「日本語適応指導」を受けたいときは、学校に入ってから担任の先生に相談します。
- 関係する窓口や部署(課や係)は 16 問合せ(相談窓口) を見てください。

8 ほごしゃ 保護者がすること

にゅうがくまえ にゅうがく ひ 入学前と入学の日

- ・ 子どもが一人で学校に行けるように、子どもといっしょに家から学校まで歩きます。
- ・ 子どもが学校で使うものを準備します。(説明：9 学校で使う(買う、もらう、借りる)もの)
- ・ 学校に持って行くすべてのものに、子どもの名前を書きます。
- ・ 標準服のある小学校は、標準服を買います。
- ・ 学校に出す書類を書いて、決まった日までに出します。
- ・ 入学式に行きます。(説明：5 小学校の1年)
- ・ 学校が決めた銀行で口座を作ります。(説明：10 学校にはらう費用)

にゅうがく まいにち 入学してから毎日

- ・ 学校を欠席する(休む)ときや学校に遅刻する(遅く行く)ときは学校に電話をします。
- ・ 連絡帳や学校からの手紙を読みます。(説明：13 学校からの連絡)
- ・ 子どもが宿題をしたか確認します。
- ・ 子どもに次の日の学校の準備をさせます。
- ・ 子どもが上履き、体操着、白衣(給食当番の服)を持って帰ってきたら、洗濯して学校に持って行くようにします。(説明：9 学校で使う(買う、もらう、借りる)もの)

1年に何回かすること(学校から案内があります)

- ・ 給食が無い日にお弁当を持っています。
- ・ 夏の暑い日など、水筒を持っています。水筒に入れてよいのは、水とお茶です。(ジュースは入れてはいけません。ペットボトルは持っていきません。)
- ・ 保護者会に行きます。先生から大切な話があります。(説明：5 小学校の1年)
- ・ 面談に行き、担任の先生と子どもの様子について話をします。(説明：5 小学校の1年)
- ・ 学校公開に行きます。学校での子どもの様子を見に行きます。(説明：5 小学校の1年)
- ・ 運動会などの学校の行事に行きます。(説明：5 小学校の1年)

ほか その他

- ・ 保護者が学校に行く時は、学校が用意した保護者用の名札をつけます。
- ・ 子どもが学校を遅刻するときは、保護者がいっしょに行きます。
- ・ 子どもが学校を早退する(早く帰る)ときは、保護者が迎えに行きます。

きをつけること

- ・ 学校には、お金、お菓子、おもちゃ、ゲームなどを持っていきません。
- ・ 学校にスマートフォンを持っていきません。(どうしても持って行かなければいけないときは、保護者と先生で相談します。)

9 学校で使う（買う、もらう、借りる）もの

学校によって少し違います。学校からのお知らせをよく見てください。
わからないときは、先生に聞いてください。

学校から無料（お金をはらわない）でもらうもの（みんな同じものを使います）

・教科書



写真と絵はすべて
例です

学校からもらうもの（お金は後で学校に払います。自分で選んで買うことはできません）

- ・問題集の連絡
- ・ノート
- ・机の引き出しとして使う「道具箱」
- ・連絡帳（説明：13 学校からの連絡）
- ・配布物（学校からもらう手紙など）や連絡帳を入れる「連絡袋」



道具箱



連絡帳・連絡袋

学校から借りるもの（卒業するとき、転校するときなどに学校に返します）

- ・GIGA端末 (iPad)
- ※ 学校の勉強のために使います。
- ※ 学校で決められたきまりを守って使います。



自分で買うもの（学校が決めたものを、決まっている店で買います）

- ・上履き（学校ではくつ） ・体操着
- ・紅白帽（体育の授業のときにかぶる帽子） ・水着
- ・（給食のときに使う）ランチヨンマット ・ランチヨンマットを入れる袋



上履き



体操着/体育着



紅白帽

自分で買うもの（必要のときに好きなものを買います）

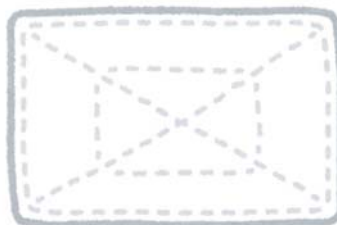
- ・ランドセル
- ・ハンカチ・ティッシュ
- ・運動靴
- ・マスク
- ・ぞうきん（そうじに使うタオル）
- ・レインコート・傘



ランドセル



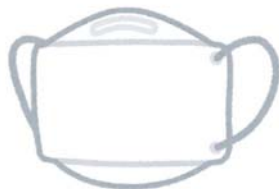
運動靴



ぞうきん



ハンカチ



マスク



レインコート

10 学校にはらう費用

学校に行くのに必要なお金があります。学校に払う費用のくわしいことは、払う前にお知らせします。お金は保護者の銀行口座から引き落とされる（払われる）ときと、子どもが学校に持っていくときがあります。学校に入学するまでに、学校が決めた銀行で口座を作ってください。口座からは決まった日にお金が自動的に引き落とされます。そのときに口座にお金があるようにしてください。

① 給食費	毎月払います。1か月6,000円くらいです。
② 教材費 (音楽の授業で使う笛、裁縫セット、絵具セットなど)	毎月払います。学校や学年でちがいます。お金を学校に持って行くこともあります。
③ 校外学習費 (遠足など)	必要なときに払います。学校からのお知らせを確認します。

※特別な授業や、行事でお金がかかるときは、学校からお知らせがあります。

11 就学援助

経済的な理由で学校に行くのに必要な支払いをすることがむずかしい保護者に、学用品費（勉強に使う文房具や教材のための費用）や給食費などを援助する制度があります。

○対象（就学援助をもらえる人）

区民で、生活保護、児童扶養手当を区役所からもらっている世帯（家庭）、または前年の世帯の所得金額（収入）が、港区教育委員会*が決めた基準所得額（収入）の世帯（家庭）

※「就学援助」をもらえるかどうかを知りたい方は、教育委員会事務局学校教育課学校運営支援係*に聞いてください。

○申請（申込み）方法

通っている学校から、「就学援助のお知らせ」「申請書」「提出用封筒」をもらいます。

申請書を書いて、学務課窓口*に持ってきてください。

12 こども けんこう ほけんしつ 子どもの健康／保健室

- ・ 毎年、子どもの健康を調べるための健康診断を行います。治療が必要なときは、学校からお知らせがとどきます。保護者が病院に連れて行ってください。
- ・ 子どもが「早寝（早く寝ること）、早起き（早く起きること）、朝ごはん（を食べること）」するように、保護者も協力してください。
- ・ 学校には保健室があります。保健の先生は子どもの健康や体の様子を見てくれます。病気の治療をする医者や看護師ではありませんが、子どもがけがをしたり、体のぐあいが悪いときは、保健室で休むことができます。
- ・ 子どもが学校でけがをしたり、体調（からだのぐあい）が悪くなったりしたときは、学校が保護者に連絡をします
- ・ 病院に連れて行った方が良いと学校が考えたときは、保護者が学校に子どもを迎えに行きます。
- ・ 子どもが感染症（インフルエンザなどほかの人にうつる病気）にかかったら、学校に行ってはいけません。
- ・ 感染症で学校の子どもがたくさん休むと、その学校が休みになる「学校閉鎖」や学級が休みになる「学級閉鎖」になります。
- 関係する窓口や部署（課や係）は 16 問合せ（相談窓口） を見てください。

13 学校からの連絡



<学校からの配布物（もらう手紙など）>

①学校だより・ 学年だより	定期的（決まった時期）に配布されます（もらいます）。 「学校だより」は学校からのお知らせやこれからの予定が書いてあります。 「学年だより」はじぶんの子どもの学年のお知らせやこれからの予定が書いてあります。
②年間行事予定表	学校の1年間の予定が書いてあります。4月にももらいます。1年間にどんな予定があるかを見てください。
③月間行事予定表	毎月もらいます。学校の1か月の予定が書いてあります。年間行事予定表に書いていないこともありますので、よくみてください。
④学校行事の参加 申込書	校外学習、保護者会などに参加するかどうかを書いて学校に渡します。子どもが参加するとき、保護者が参加するとき、子どもと保護者が参加するときがあります。申し込むのを忘れると参加できなくなりますので、よく読んで、出してください。

※ このほかにもいろいろなお知らせが配布されます。日本語が読めない・わからないときは、日本語のわかる人に読んでもらってください。困ったときは学校の先生に相談してください。

<連絡帳(Renrakuchou)の使い方>

- ・ 小学校では学校と保護者の毎日の連絡に使う「連絡帳(Renrakuchou)」があります。
- ・ 子どもが教室の連絡用黒板の内容（保護者へ連絡することなど）を書き写します。
- ・ 連絡帳には、大切なお知らせや連絡が書いてあります。
- ・ 保護者は子どもが家に帰ってきたら、連絡帳に書いてあることを必ず読んでください。
- ・ 学校から保護者には、連絡帳のほかに、メールや ZOOM など SNS、「まなびポケット (Manabi Pocket) (GIGA端末)」を使って連絡をすることもあります。登録方法やログイン方法は学校からのお知らせがあります。お知らせを読んで、登録・ログインをしてください。使い方がわからないときは、日本語がわかる人が学校に聞いてください。

14 学校緊急連絡システム

学校や児童が住む地域で不審な人がいたときや、（地震などの）大きな災害が起こったときに学校から保護者への送る緊急メールがあります。メールは日本語です。登録するかどうかは選べます。災害のときに役に立つので、多くの保護者が登録しています。4月ごろに学校から登録を説明するお知らせがあります。

15 学校でよく使う言葉

〈授業の科目〉*1, *2, *3 のついている科目以外は、1年～6年生の全員が勉強する授業です

日本語	読み方	説明
国語	kokugo	漢字を読むこと・書くことを練習します。物語やいろいろな種類の文章を読みます。自分で文章を作り、書く練習をします。
算数	sansuu	数字を使って計算する勉強をします。いろいろな形をしたものの面積(広さ)や立体的な(広さと高さがある)ものの体積(大きさ)を計算します。
理科*1	rika	自然や化学(chemistry)などの勉強をします。
社会*1	shakai	地理(geography)や歴史(history)などの勉強をします。
英語	eigo	英語を勉強します。
音楽	ongaku	歌を歌ったり楽器を演奏したりします。
図画工作	zudou	絵を描いたり作品を作ったりします。
体育	taiiku	走ったり、泳いだり、いろいろなスポーツをします。からだのことを勉強します。
家庭科*2	kateika	食べ物や、生活のことなどを勉強します。洋服などを作ったりします。
生活*3	seikatsu	身近な生活や自然などの勉強をします。
書写	shosha	鉛筆や筆で日本の字を書きます。
道徳	doutoku	よいこと悪いことを考え、行動するために、みんなと話しながら勉強します。
学級活動	gakkyu katsudo	学級のみんなでやることや守ることなどを、みんなと話し合い、活動します。

*1 (理科・社会): 3年～6年生

*2 (家庭科): 5年・6年生

*3 (生活): 1年・2年生

〈先生〉

日本語	読み方	説明
先生	sensei	学校で子どもに教える人
校長先生	kouchou- sensei	学校で1番上の先生
副校長先生	fuku-kouchou-sensei	学校で2番目の先生
担任の先生	tannin no Sensei	子どもの学級の先生
保健の先生	hoken no sensei	けがやからだの具合が悪いときに相談する先生

しせつ
〈施設〉

日本語	読み方	説明	日本語	読み方	説明
きょうしつ 教室	kyoshitsu	べんきょう へや 勉強する部屋	こうしゃ 校舎	kousha	がっこう 学校のたてもの
とイレ トイレ	toire	てあら お手洗い	しよくいんしつ 職員室	shokuinshitsu	せんせい 先生たちがいる部屋
日本語	読み方	説明			
こうてい 校庭	koutei	がっこう にわ うんどう 学校の庭・運動するところ			
たいいくかん 体育館	taikukan	たてものなか うんどう たてものの中で運動をするところ			
ほけんしつ 保健室	hokenshitsu	けがしたり、具合が悪いときに保健の先生に相談に行くところ			
としましつ 図書室	toshokan	ほんよ へや ほんか 本を読む部屋。本を借りることもできます			
ろうか 廊下	rouka	こうしゃなか ある 校舎の中の歩くところ			

〈行事〉 5 小学校の1年 に出てくる行事の日本語です。5章を見てください

日本語	読み方	説明
しぎょうしき 始業式	shigyoushiki	がっき さいしょ ひ 学期の最初の日にやる式
にゅうがくしき 入学式	nyuugakushiki	子どもが がっこう にゅうがく 子どもが学校に入学するときに祝う式
けんこうしんだん 健康診断	kenkoushingan	いし いしゃ 医師（医者）が学校に来て子どもの健康に問題がないかを調べます
ほごしゃかい 保護者会	hogosyakai	子どもの ほごしゃ 子どもの保護者が学校に集まり、先生の話を聞かす
えんそく 遠足／ こうがいがくしゅう 校外学習	ensoku/kougaigaku shuu	きょういん せんせい じどう 教員（先生）と児童がバスなどに乗っていっしょに学校の外に行き、 がくしゅう 学習したり遊んだりします
うんどうかい 運動会	undoukai	いろいろな種類のスポーツ（運動）を楽しみながら、勝ったり負けたり、競争する大会
がっこうこうかい 学校公開	gakkoukikai	保護者が子どもの がっこうせいかつ 保護者が子どもの学校生活を見に行きます
しゅうぎょうしき 終業式	shuugyoushiki	がっき さいご ひ 学期の最後の日にやる式
なつやすみ 夏休み	natsuyasumi	7月終わるところから8月終わるまでの学校の休み
かきがくえん 夏季学園	kakigakuen	うつく しぜん なか しゆくはく とま 美しい自然の中で宿泊し（泊り）ながら、みんなで協力して楽しい しゅうだんせいかつ 集団生活（たくさんの人で生活すること）をします
ひわたし 引き渡し くんれん 訓練	hikiwatashikunren	じしん 地震やつなみなど、災害が起こったときは、保護者が子どもを学校に むか 迎えに行きます。その訓練（練習）です
いどうきょうしつ 移動教室	idoukyoshitsu	みんなでいっしょに泊まり行動しながら、自分で何かをすること、みんな なかに で決めたことを守り、仲良くする気持ちや行動を学びます
がくげい 学芸 はっぴょうかい 発表会	gakugeihappyoukai	いろいろな学習についてまとめて発表します
めんだん 面談	mendan	子どもの勉強や生活の様子について担任の先生と話します
ふゆやすみ 冬休み	fuyuyasumi	12月終わるところから1月初めまでの学校の休み
そつぎょうしき 卒業式	sotsugyoushiki	子どもが学校を卒業するときに祝う式
しゅうりょうしき 修了式	shuuryoushiki	がっこうの1年が終わる3学期の最後の日にやる式
はるやすみ 春休み	haruyasumi	3月終わるところから4月初めまでの学校の休み

〈学校生活〉

覚えておくと役に立つ日本語です。それぞれの章の中でくわしく説明をしています。

章	日本語	読み方	説明
	保護者	hogosha	父親・母親など、子どもを守る責任のある特定の人
2	出席	shusseki	参加する／行く
4	登校	toukou	学校に行くこと
	通学路	tsuugakuro	学校に行く／から帰るときの毎日決まった道
	遅刻	chikoku	(学校に)遅く行くこと
	欠席	kesseki	(学校を)休むこと
	朝の会	asa-no-kai	朝、教室で児童があいさつをして先生の話聞く会
	朝礼	chourei	児童全員が校庭や体育館に集まる朝の会
	授業	jyugyou	学校の勉強
	給食	kyuusyoku	学校が用意して食べる昼ごはん
	昼休み	hiruyasumi	昼の休み時間
	帰りの会	kaeri-no-kai	授業が終わってから帰る前に教室でやる会。次の日のこの話などがあります
		下校	gekou
	掃除	souji	(教室などの)ごみをかたづけてきれいにすること
5	行事	gyouji	みんなでする特別なこと
	児童	jidou	子どもたちを小学校で呼ぶ言いかた(「生徒」と同じ)
8	連絡帳	renrakuchou	学校からのいろいろな連絡を書くノート
	宿題	shukudai	家で勉強するように先生から言われた問題
	上履き	uwabaki	学校(のたてものの中)ではなくくつ
	体操着・体育着	taisougi/taiikugi	体育の授業のときに着る服
	白衣	hakui	給食の当番(用意や片づけをする係)のときに着る白い服
	お弁当	obentou	給食が出ないときに(保護者が)用意して、子どもが持っていくごはん
	水筒	suitou	水やお茶を入れる入れ物
	早退	soutai	(学校から)早く帰ること
9	教科書	kyoukasho	学校の勉強で使う本
	道具箱	dougubako	文房具などを入れて使う箱
	連絡袋	renrakubukuro	連絡帳や手紙を入れる袋
	紅白帽	kouhakubou	体育の授業のときにかぶる赤と白の帽子
	水着	mizugi	水泳の(授業の)ときに着るもの
	ぞうきん	zoukin	そうじのときに、机などをふく布

章	日本語	読み方	説明
12	がっこうへいさ 学校閉鎖	gakkouheisa	(インフルエンザなどの) 感染症にかかる児童が多いときに、学校が休みになること
	がっきゅうへいさ 学級閉鎖	gakkkyuuheisa	感染症にかかる児童が多いときに、学級が休みになること
13	がっこう 学校だより	gakkoudayori	学校からのお知らせやこれからの予定
	がくねん 学年だより	gakunendayori	子どもの学年のお知らせやこれからの予定
	まなびポケット	Manabi pocket	児童が授業で使う Giga 端末。学校からの連絡などにも使う
	だんし 男子	danshi	男の子 (「男子児童」などと使う)
	じょし 女子	kyoshi	女の子 (「女子児童」などと使う)
	ていがくねん 低学年	teigakunen	小学校 1-2 年生
	ちゅうがくねん 中学年	chuugakunen	小学校 3-4 年生
	こうがくねん 高学年	kougakunen	小学校 5-6 年生

16 といあわ 問合せ（相談窓口） そうだんまどぐち

<ガイドブック（この本）や学校のこと>

- ・ 勉強や学校生活のことなどは、さいしょに担任の先生に相談します。
- ・ 担任の先生に相談できないときは、学校のスクールカウンセラーに相談します。
連絡方法は学校の先生に相談します。

【ガイドブックのこと】

港区役所 7階 学務課学事係 TEL 03-3578-2726～2729
学校運営支援係 TEL 03-3578-2730

【学校のこと】

港区立教育センター 4階 教育指導担当 TEL 03-5422-1541

<困っていることがあるときの相談>

・港区外国人相談

港区役所 3階 地域振興課国際化推進係 TEL 03-3578-2046、2524

言語：やさしい日本語、英語、そのほかの言語は通訳タブレットで相談できます。

時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時 正午（12時）～午後1時は相談できません。

【通訳タブレットで相談できる言語】

英語（English）、中国語（中文）、韓国・朝鮮語（한국어/조선어）、ポルトガル語（Português）、
スペイン語（Español）、タイ語（ภาษาไทย）、ロシア語（Русский язык）、
タガログ語（Tagalog）、ネパール語（नेपाली भाषा）、ベトナム語（Tiếng Việt）、
インドネシア語（Bahasa Indonesia）、ヒンディー語（हिंदी）、フランス語（Français）

- 通訳タブレットは港区役所・支所、区立学校で使うことができます。
- 学校でタブレットを使って相談したいときは、相談の日を決めるときに先生にお願いしてください。

・港区国際交流協会 TEL 03-6440-0233

言語と時間：やさしい日本語・英語 月曜～金曜 午前9時～午後5時
中国語 火曜 午前9時半～午後4時半

<子どものことについての相談>

港区立教育センター

子どものことについて、「悩み」や「心配ごと」があるときに相談します。

○センターに行って相談（同時翻訳機を使います） TEL 03-5422-1545

月曜～金曜 午前9時～午後5時

○電話で相談（日本語） TEL 03-5422-1546

月曜～金曜 午前9時～午後7時 土曜 午前9時～午後5時

○オンライン教育相談（右の二次元コードから申し込みます）

火曜～金曜 午前9時～午後5時



みなとくりつ しょうがっこう
港区立の小学校に入ることを考えている方へ

れいわ はっこう ねん がつはっこう
令和5（2023）年10月発行

へんしゅう はっこう みなとくきょういくいいんかいじむきょくがっこうきょういくぶがくむか
編集・発行 港区教育委員会事務局学校教育課

とうきょうとみなとくしほこうえん
東京都港区芝公園1-5-25

でんわ だいはう
電話 03-3578-2111（代表）